

年号	西暦	主な出来事
50年	1975	月) ・元野幌の一部を大麻泉町、大麻栄町、大麻新町に、晴美町を大麻晴美町に、南樹町を大麻南樹町に町名変更(11月) ・第二給食センター(対雁調理場)の完成(11月) ・江別工業団地協同組合の設立(12月) ・夕張鉄道、栗山一野幌間の貨物輸送の廃止により全線廃止(3月) ・緑町に言語治療教室(ことばの教室)の開設(52年1月、中央小に移設)(4月) ・東野幌の一部を東野幌本町に、西野幌の一部を野幌若葉町に町名変更、緑町東1丁目、緑町東2丁目の一部を王子に編入(7月) ・野幌老人憩いの家開設(10月) ・夜間急病診療所の開設(12月)
51年	1976	・商店街振興組合連合会の設立(3月) ・江別第一中学校に情緒障害児学級開設(道内初)(4月) ・石狩大橋架替え(第1期工事)完成(11月) ・国道12号江別バイパスの完成(11月) ・江別太の一部を東光町に編入し、江別太の一部を朝日町、あけばの町に町名変更(11月)
52年	1977	・中央小学校の開校(1月) ・市営屠畜場の廃止(3月) ・江別・グレシャム都市提携委員会の発足(4月) ・米国オレゴン州グレシャム市と姉妹都市の盟約調印、併せて商工会議所姉妹提携(5月) ・日本野鳥の会江別支部の発足(10月) ・肢体不自由児通園施設あゆみ園の開設(10月)
53年	1978	・弥生保育園の開設(2月) ・対雁、角山、元江別の一部が江栄町に町名変更(3月) ・三愛女子高校、縦貫道建設に伴い移転(3月) ・大麻泉小学校の開校(4月) ・高齢者事業団の設立(道内初)(4月) ・市民体育館の開館(5月) ・江別郵便局舎完成(6月) ・市街化区域の見直し(2,460haとなる)(6月) ・江別百年記念式典の開催(7月) ・高知県土佐市と友好都市の盟約調印(7月) ・江別百年記念事業のタイムカプセル埋設(10月) ・野幌高校、西野幌から元野幌へ新築移転(12月)
54年	1979	・大麻体育館の開館(3月) ・古田島薰平さんに名誉市民の称号が贈られる(3月) ・白樺保育所、新築移転(4月) ・大麻東中学校の開校(4月) ・ゴミの分別収集開始(4月) ・学校給食に米飯給食導入(10月) ・第1回樺太移住殉難者慰靈墓前祭の開催(11月) ・上江別の一部を上江別東町、上江別西町、上江別南町に町名変更(11月) ・東光橋の完成(11月) ・美原に農村環境改善センター開設(12月)
55年	1980	・江別橋の解体撤去(1月) ・下の月小学校の廃校(江別小へ統合)(3月) ・野幌中学校の新築移転(4月) ・元野幌と野幌町の一部を野幌松並町、野幌末広町に町名変更、元野幌の一部を野幌住吉町、野幌代々木町に町名変更(9月) ・道立総合運動公園が西野幌下学田に位置決定(9月) ・ヤングテレホンの開設(10月) ・大麻老人憩いの家の開設(10月) ・西野幌に野幌農村環境改善センター開設(11月)
56年	1981	・東京江別会の発足(1月) ・西野幌の一部を文京台東町に、西野幌と文京台の一部を文京台南町に町名変更(1月) ・市立高等看護学院の廃止(3月) ・“市立病院準用財政再建計画”スタート(3月) ・ゴミ焼却処理場完成、運転開始(4月) ・江別太中継ポンプ場の運転開始(4月) ・石狩東部広域水道企業団から受水開始(4月) ・農村広場オープン(5月) ・東野幌の一部を野幌東町に町名変更(7月) ・元江別の一部を牧場町、元町に町名変更、元江別と一番町の一部を若草町に町名変更、対雁の一部を緑町東3丁目、緑町西3丁目に編入(11月) ・江別ユネスコ協会の発足(12月)
57年	1982	・江別ガス合併により旭川ガス江別支社となる(1月) ・角山小・中学校の新校舎完成(1月) ・第1回スノーフェスティバル開催(2月) ・総合社会福祉センターの開設(4月) ・市水道庁舎の開設(4月) ・江別太の一部を豊幌に編入(5月) ・豊幌に防災資材倉庫完成(7月) ・坊主山遺跡出土江別式土器56点、市指定有形文化財に指定(7月) ・江別駅前“ふれあいの滝”完成(9月) ・湯川公園の全面整備完成(10月) ・元江別の一部を元江別本町に、元野幌の一部を中央町に町名変更、元江別の一部を向ヶ丘に、元野幌の一部を錦町に編入(11月) ・八幡に排水機場完成(11月)
58年	1983	・江陽中学校の開校(4月) ・新し尿処理場の運転開始(4月) ・シルバー人材センターの設立(高齢者事業団の組織改編)(4月) ・第4代市長に岡英雄就任(5月) ・吉井の沢橋完成(三番通野幌一大麻間開通)(8月) ・北海道縦貫自動車道、札幌ー岩見沢間の(31.9km)開通と江別東、江別西インター・チェンジの開業(11月)
59年	1984	・市立病院、外来棟新築オープン(1月) ・勤労者研修センターオープン(2月) ・江別管工事業協同組合の設立(2月) ・緑化推進条例の制定(3月) ・青少年スポーツ賞の創設(3月) ・空地の環境保全“草刈り”条例の制定(4月) ・市夜間急病診療所閉鎖、市立病院夜間診療部として再スタート(4月) ・野幌若葉小学校の開校(4月) ・大麻高校の開校(4月) ・元野幌の一部

年 号	西暦	主 な 出 来 事
60年	1985	を大麻北町に町名変更、元野幌の一部を大麻に編入（4月）・札幌商科大学、大学名を札幌学院大学に改称（4月）・機能回復訓練センターの開設（7月）・市制30周年記念の“ふるさと製品と観光展”“市制30年展”開催（8月）・麻の実児童センターオープン（11月）・消防署中央出張所、3条1丁目に新築移転（12月）・野幌公民館の新築移転（12月）・先端産業等誘致促進条例の制定（12月）
61年	1986	・市街化区域の見直し（3月）・市“新総合計画”スタート（4月）・電話市外局番、01138番から011番に変更（4月）・大麻の一部を大麻元町に、西野幌の一部を文京台緑町、野幌若葉町に町名変更、西野幌の一部を文京台に編入（4月）・深川市内に市営牧野98haを確保（6月）・石狩川リバーセイリングの開始（6月）・第14回国勢調査、人口9万人突破（人口90,328人）（10月）・RTN構想（先端技術等研究施設の集積）の決定（12月）・ランドマーク第1号の設置（12月）
62年	1987	・元江別の一部を見晴台に町名変更（1月）・版画家手島圭三郎さん'86ボローニア国際児童図書展で特別賞受賞（3月）・江別工業団地協同組合の共同受電事業竣工（3月）・北光小学校の開校（篠津、江北、美原の3小学校統合）（4月）・住民情報漢字オンラインシステムスタート（4月）・王子製紙江別工場の専用鉄道廃止（5月）・東野幌の一部を東野幌町に町名変更（7月）・市営森林キャンプ場の完成（7月）・RTNゾーンに雪印種苗バイオ技術研究所が進出（8月）・第1回市展（公募美術展）の開催（10月）・国鉄高砂駅の開業（11月）・江別一南幌を結ぶ江南橋完成（11月）・西野幌の一部を文京台に編入（11月）・錦町に保健センターオープン（12月）・国鉄野幌駅南口の開業（12月）
63年	1988	・国鉄大麻駅南口の開業（2月）・市立病院準用財政再建計画終了（3月）・文京台小学校の開校（4月）・雪印種苗技術研究所の開所（RTN第1号）（5月）・青少年文化賞の創設（5月）・大麻3遺跡出土の土偶2体、市指定有形文化財に指定（6月）・市有価物リサイクルバンクの開設（8月）・全国高等学校総合体育大会の3競技を開催（8月）・元野幌の一部を野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町に町名変更（9月）・第1回市都市景観賞の表彰式（11月）・とわの森三愛高校の開校（三愛女子高と酪農学園大学付属高校を統合し男女共学化）（4月）・八幡にゴミ最終処分場使用開始（4月）・国体リハーサル大会の開催（8月）・市教委のレッツイングリッシュ事業スタート（8月）・救急医療情報システムスタート（10月）・市婦人団体協議会、おもちゃ図書館開設（11月）・野幌郵便局、新築移転（10月）・東野幌と西野幌の一部を緑ヶ丘に町名変更、東野幌の一部を東野幌本町に、西野幌の一部を野幌若葉町に編入（11月）・白樺通のJRアンダーパス化、4車線拡幅工事完成（12月）
平成元年	1989	・道立工業試験場野幌分場にガラス工房オープン（1月）・千歳座90年に幕、市内から映画館が消える（3月）・江別叢書第1巻“世田谷物語”刊行（3月）・北電専用鉄道の廃止（3月）・市健康管理データバンクシステム運用開始（4月）・RTN第1工区に北海道情報大学の開学、セロテック研究所の開業（4月）・情報図書館の開館（8月）・古田島薰平さん（名誉市民）の市葬（8月）・野幌8丁目商店街の歩道、煉瓦舗装化（8月）・コミュニティセンターと中央公民館オープン（9月）・はまなす国体開催（9月）・市営墓地“やすらぎ苑”葬斎場完成（10月）・上江別に雇用促進住宅“サンコーポラス江別”（80戸）完成（11月）
2年	1990	・元野幌の一部を中央町、野幌寿町、野幌屯田町、野幌美幸町に編入（2月）・大麻体育館の完成（3月）・市に気象情報オンラインシステム端末機設置（4月）・情報図書館と市内中学校との情報オンライン化スタート（6月）・第1回やきもの市の開催・“四季のみち”構想スタート（8月）・野幌窯業振興会、れんが百年記念事業を実施（10月）・グリーンモール広場の整備完了（12月）
3年	1991	・市内初の流雪溝使用開始（アメニティ下水道の一環）（1月）・北電江別発電所の閉所（3月）・グリーンモール噴水の通水式（4月）・北海道情報技術研究所の開業（4月）・郷土資料館の開館（4月）・SCC国際交流センター完成（6月）・コンポスト購入助成の開始（7月）・元江別の一部を見晴台に編入（8月）・市内初の女性消防団員（10人）誕生（8月）・市の人口10万人を超える（道内10番目の10万都市）（11月）
4年	1992	・道立食品加工研究センターの開所（2月）・町村牧場、篠津へ移転（3月）・職業安定所、4条1丁目に新庁舎完成移転（3月）・野幌小学校の特認校制度開始（4月）・ふれあいワークセンター完成（4月）・陶芸の里実施計画の策定（4月）・スポーツ振興財団の発足（6月）・“矢澤教育振興基金”的創設（6月）・まちづくり論文入賞者決定（7月）・東野幌の一部と西野幌の一部を緑ヶ丘に編入（8月）・市内小中学校で学校週5日制（隔週）スタート（9月）・ファナック操

年号	西暦	主な出来事
5年	1993	業開始（R TN第2工区第1号）（11月） ・第9回日本雪工学会開催（1月）・市消防本部新庁舎の完成（3月）・水道サービス公社の業務開始（4月）・中央中学校の開校（4月）・上西晴治さん小説“十勝平野”伊藤整文学賞受賞（5月）・まちづくり100人会議の発足（6月）・江別太遺跡出土品59点、国指定重要文化財に指定（6月）・R TN第2工区の日本デジタル研究所開業（9月）・新王子製紙の設立（王子製紙と神崎製紙の合併）（10月）・市役所第2、第4土曜日閉庁開始（10月）・花き栽培技術指導センターオープン（11月）
6年	1994	・山内倫子さん（野幌中3年）第53回全国教育美術展で特選（2月）・江別市の“名木100選”決定（3月）・ガラス工芸館の開館（4月）・市の人口北見市を抜き道内9番目となる（4月）・第46回北海道消防大会開催（6月）・人口11万人突破（7月）・全国中学校選抜体育大会（水泳・バレーボール）開催（8月）・市役所、完全週5日制スタート（10月）・セラミックアートセンターオープン（11月）・新総合計画後期基本計画“えべつ21、15万人都市プラン”策定（12月）・勤労者総合福祉センター（サンワークえべつ）開館（12月）
7年	1995	・江別訪問看護ステーションの開業（1月）・草野河畔林トラスト財団の設立（1月）・阪神淡路大震災の支援で市水道部職員6人を神戸市に派遣（2月）・対雁の一部をいずみ野に町名変更（2月）・浄水場の高度浄水処理施設完成（3月）・えべつ昭和史の発刊（3月）・江別勤労者共済制度の開始（4月）・いきいきセンター“さわまち”的開所（4月）・屯田資料館の開館（4月）・第5代市長に小川公人就任（5月）・江別市人口、室蘭市を抜き道内8位になる（5月）・在宅福祉サービス公社の発足（6月）・元江別1遺跡土壙墓出土品、国指定重要文化財に指定（6月）・全国高校少林寺拳法大会組演武規定の部で大麻高校男女ともに優勝（7月）・第1回えべつ北海鳴子まつり開催（8月）・野幌自動車排出ガス測定局（かわなか公園）の設置（10月）・テレホンガイドえべつ、いつでもコールスタート（12月）
8年	1996	・記録的な大雪－8日17時から9日9時までの降雪量63cm（1月）・消防署大麻出張所新庁舎の業務開始（2月）・野幌小学校の新校舎完成（3月）・江別高校、向ヶ丘から上江別に新築移転（3月）・対雁の一部をいずみ野に編入（4月）・行政改革の基本方針“新行政改革大綱”発表（4月）・萩ヶ岡児童センターの開所（4月）・市内初の軽費老人ホーム“ケアハウスゆうあい”的開所（4月）・情報公開条例の制定（6月）・江別国際センターオープン（7月）・江別リサーチセンターの開所（7月）・第34回北海道障害者スポーツ大会、第45回全道身体障害者福祉大会開催（7月）・縄文時代の墓と見られる大量土壙墓“7丁目沢6遺跡”で発見（8月）・ほくでん総合研究所の開所（9月）・江別観光ボランティアガイドスタート（9月）・旧町村農場記念館の開館（10月）・王子製紙の設立（新王子製紙と本州製紙が合併）（10月）・江別インターネットコミュニティの実験運用開始（10月）・元町の市営住宅建替え事業で市内初の8階建て高層市営住宅A棟完成（10月）
9年	1997	・江別市在宅福祉サービス公社の事業開始（4月）・いずみ野小学校の開校（4月）・立命館大学慶祥高校の開校（4月）・生活安全条例の制定（道内初）（6月）・北海道消防学校と江別高校跡地で札幌圏総合防災訓練の実施（5月）・あけぼのパークゴルフ場のオープン（6月）・ごみの分別収集モデル地区事業開始（7月）・王子製紙江別工場が緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰受賞（7月）・国土地理院の計測成果により行政面積187.57km ² となる（9月）・市民文化ホール“えぼあ”オープン、大麻公民館の新築移転（10月）・デイサービスセンター“あかしや”的開所（10月）・JR駅周辺に自転車等放置禁止区域の設定（10月）・幸町に複合型映画館併設の“江別サティ”オープン（11月）
10年	1998	・東野幌の一部をあさひが丘に町名変更（3月）・岩田政勝さんに名誉市民の称号が贈られる（4月）・森の子児童センターの開所（4月）・江別市人口12万人を超える（7月）・江別麦の会の発足（8月）・江別古墳群（後藤遺跡）、国史跡に指定（9月）・江沢民中国国家主席、町村農場訪問（11月）・市立病院新築オープン（市立江別総合病院から名称を江別市立病院に改称）（12月）
11年	1999	・市障がい者福祉計画（障がい者支援、えべつ21プラン）の策定（3月）・上江別小学校の開校（4月）・江別市ホームページの開設（6月）・特別養護老人ホーム“静苑ホーム”豊幌から元野幌に新築移転（10月）・道立埋蔵文化財センターの開館（11月）・市役所庁舎西棟完成（11月）・環境基本条例の制定（12月）
12年	2000	・江別初のNPO法人“やきもの21”誕生（2月）・豊幌地区センター（市の窓口併設）オープン（2月）・資源物の分別収集全市一斉に開始（3月）・リサイクルセンター運用開始（3月）・北

年 号	西暦	主 な 出 来 事
13年	2001	海道女子大学、大学名を北海道浅井学園大学と改称し男女共学になる（4月）・介護保険制度スタート（4月）・江別環境整備事業協同組合の設立（4月）・飛鳥山公園多目的広場オープン（5月）・岩田政勝さん（名誉市民）の市葬（8月）・野幌鉄南地区に住民票等の証明交付窓口開設（10月）・豊幌の一部を豊幌花園町、豊幌美咲町、豊幌はみんぐ町に町名変更（10月）・保健センター、錦町から若草町に移転（12月）・いきいきセンター“わかくさ”の開所（12月）・子育て支援センター“すくすく”的開所（1月）・JA道央の創立（5農協合併）（2月）・大麻西地区センター開館（2月）・JR高砂駅新駅舎、歩道橋完成（2月）・学校給食センター、中央町から元野幌に新築移転（3月）・江別太の一部をあけぼの町に編入（3月）・自然ふれあい交流館の開館（4月）・北海道林木育種場旧庁舎、国登録有形文化財に登録（8月）・全国中学校体育大会で中央中男子バレー部、初優勝（8月）・JR大麻駅バリアフリー化の工事完成（12月）
14年	2002	・旧北陸銀行江別支店建物、国登録有形文化財に登録（2月）・江別グレシャムアンテナショップ（旧ヒダ工場）の開設（3月）・完全学校週5日制始まる（4月）・市男女共同参画基本計画の策定（7月）・江別経済ネットワークの設立（9月）・上江別の一部をゆめみ野東町、ゆめみ野南町に町名変更、上江別の一部を上江別東町、上江別南町、朝日町に編入（10月）・江別河川防災ステーションオープン（10月）・八幡の新ゴミ処理施設“くるりん”（環境クリーンセンター）の操業開始（12月）・市基金条例の制定（12月）
15年	2003	・石狩中央信用金庫と札幌信用金庫が合併、札幌信用金庫江別支店となる（1月）・野幌ひまわり児童センター、元町地区センターオープン（1月）・江別太の一部を萌えぎ野西、萌えぎ野中央、萌えぎ野東に町名変更（2月）・えべつ市民健康づくりプラン21策定（3月）・市アンビシャスクラブの開設（4月）・特別職の専用車廃止による多用途車両（低公害車）導入（5月）・住民基本台帳ネットワークシステム2次稼動開始（8月）・高齢者配食事業協会の設立（8月）
16年	2004	・地域スポーツクラブ“きらり”の発足（1月）・第5次市総合計画の策定（3月）・市中心市街地活性化基本計画の策定（3月）・江別ファイターズクラブの発足（6月）・市制50周年記念式典の開催（9月）・台風18号による強風被害発生（9月）・家庭ごみの有料化開始（10月）・“江別のれんが”北海道遺産に選定（10月）・セラミックアートセンター前、れんがモニュメント完成（10月）
17年	2005	・江別グレシャムアンテナショップに“土佐コーナー”設置（1月）・新江別市史の発刊（3月）・市内降雪量、過去2番目を記録792cm（3月）・“美原大橋の開通”道央圏連絡道路美原バイパスの開通（3月）・小中学校の学校選択制による新1年生の入学開始（4月）・北海道浅井学園大学、大学名を浅井学園大学に改称（4月）・地域交流拠点“ほっとハウスおおあさ”開所（7月）・アースペース“外輪船”オープン（7月）
18年	2006	・指定管理者制度スタート（4月）・えべつの顔づくり事業（連続立体交差、街路、区画整理）都市計画決定（6月）・市民活動センター“あい”の開所（9月）・大麻の一部を大麻桜木町、大麻ひかり町に町名変更（10月）・夜間急病センター錦町に移転開設（10月）・市国民保護計画の策定（11月）
19年	2007	・江別市、新篠津村合併協議会の設置（1月）・市雪対策基本計画の策定（3月）・みどり保育園、公設民営化開始（4月）・浅井学園大学、大学名を北翔大学に改称（4月）・第6代市長に三好昇就任（5月）・江別駅前民間再開発事業の商業業務棟“えべつみらいビル”、福祉棟“江別ケアパークそよ風”竣工（11月）・介護付有料老人ホーム“江別ケアパークそよ風”的開所（12月）
20年	2008	・後期高齢者医療制度スタート（4月）・JR野幌駅周辺鉄道高架橋工事本格着工（8月）・江別市、新篠津村合併協議会の解散（合併断念決定）（9月）・ゆるキャラ“えべチュン”誕生（10月）・元野幌の一部を新栄台に町名変更（10月）
21年	2009	・市と市内4大学、江別市商工会議所が“包括連携・協力に関する協定書”に調印（2月）・第5次市総合計画後期基本計画策定（2月）・男女共同参画推進条例の制定（3月）・えべつみらいビル進出企業、ペイロール“北海道B P O”操業開始（4月）・自治基本条例の制定（7月）・全国健康福祉祭“ねんりんピック北海道・札幌2009”将棋交流大会開催（9月）・新型インフルエンザの流行により市内小中学校で休校相次ぐ（10月）・大麻団地住環境活性化調査研究会“大麻団地まちづくり指針”策定（10月）・市水道ビジョンの策定（12月）
22年	2010	・局地的な大雪一市内で16日17時からの24時間降雪量82cm（1月）・認定こども園あけぼののびのび保育園開園（4月）・江別和牛生産改良組合の設立（4月）・常陸宮妃殿下ご臨席、第29回赤十

年号	西暦	主な出来事
23年	2011	字北海道大会開催（8月）・土地開発公社の解散（9月）・第19回国勢調査、江別市戦後初の人口減少（人口123,722人）（10月）・鈴木章さん（北大名誉教授）ノーベル化学賞受賞（10月）・第1回江別まち検定実施（10月） ・記録的な大雪－7日17時から18日17時までの降雪量254cm（1月）・鈴木章さん（北大名誉教授）に市特別栄誉賞が贈られる（2月）・市下水道ビジョンの策定（3月）・東日本大震災発生、被災地へ職員派遣、物的支援を行う（3月～12月）・江北中学校の廃校（江別第三中に統合）（3月）・平和市長会議に加盟（7月）・野幌鉄道高架化、JR野幌駅新駅舎の開業（10月）・北海道フードコンプレックス国際戦略総合特区に指定（12月）
24年	2012	・中原通道路、鉄西線－鉄東線間の開通（3月）・防災あんしんマップ全戸配布（3月）・大麻3遺跡出土の土偶、北海道指定有形文化財に指定（3月）・小中学校で二学期制導入（4月） ・江別出身の右代啓祐さん、ロンドンオリンピック（陸上競技・男子十種競技）に出場、順位20位（8月）
25年	2013	・八幡にメガソーラー大規模太陽光発電所（江別ノーザンフロンティア発電所）稼働（2月）・市議会基本条例の制定（3月）・市道6丁目通、“高砂地下歩道”の開通（3月）・角山中学校の廃校（中央中に統合）（3月）・桜木紫乃さん小説“ホテルローヤル”直木賞受賞（7月）・野幌駅周辺地区サイクルシェアリング“のっちゃり”スタート（8月）・土佐市と友好都市提携35周年記念式典の開催（8月）・元野幌の一部を大麻泉町に編入（11月）・子育てひろば“ぼこあぽこ”オープン（12月）・暴力団排除条例の制定（12月）
26年	2014	・第6次市総合計画“えべつ未来づくりビジョン”スタート（4月）・平和都市の宣言（8月） ・11日からの集中豪雨（北海道初の“大雨特別警報発令”）の影響による上江別浄水場の取水停止、大規模断水発生（9月）・市議会インターネット中継開始（9月）・市制60周年記念式典の開催、市役所前庭に“平和の碑”建立（10月）・右代啓祐さん、アジア大会陸上男子十種競技（8,088点）で金メダル受賞（10月）・江別駅跨線人道橋架替え工事完成（10月）・右代啓祐さんに市民栄誉賞の贈呈（11月）・野幌駅北口広場の完成（12月）・太陽光発電所（江別グリーンエコナジー発電所）稼働（12月）
27年	2015	・札幌盲学校の廃校（札幌に統合）（3月）・新えべつ土地改良区発足（江別土地改良区と南美原土地改良区の合併）（4月）・えべつプレミアム商品券の販売（6月）・RTN地区気象庁静止気象衛星「ひまわり8号」バックアップ施設運用開始（6月）・江別漁業協同組合解散（6月）・RTN地区コープさっぽろ江別食品工場操業（7月）・第1回平和の集い開催（7月）・断水対策「原水を溜める施設」完成（9月）・江別市民参加条例の制定（10月）・第20回国勢調査の実施（10月） ・消防団女性分団設立（10月）・ペイロール、新北海道BPOセンターを野幌駅前ビルに開設（10月）